



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.5月号

博物館こどもフェスタ2012

5月6日(日曜日)開催!!



GWの最終日、博物館では親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意して、皆さまのご来館をお待ちしています。いずれのイベントも事前申込の必要はございません。それぞれの開催時間内ならいつでも自由にご参加いただけます(ただし、イベントによっては材料がなくなり次第、終了することもあります)。どうぞ、ご期待ください。



イベント名	内容	開催時間	会場
おいしく学ぶ キッチン火山実験	ココアやチョコを使って火山実験をします。参加費200円。	10:00 ~ 12:00	科学教室
むかしのこども遊び	竹馬、ベーゴマ、大山ゴマ、あやとり、お手玉などで遊びます。	10:00 ~ 12:00	相模の家 屋外展示場
太陽をみよう	屋上で太陽を観察します。 曇天時中止。	10:00 ~ 11:00 13:00 ~ 14:00	屋上
古代生活体験 「火起こし・弓矢」	古代舞い切り式の火起こしと、古代人の狩猟技術を体験します。	10:00 ~ 15:00	屋外展示場
むかしの道具にチャレンジ	クイズに答え、石臼で粉ひきなどの体験メニューに挑戦します。	10:00 ~ 16:00	常設展示室
博物館ぶたいうら たんけんツアー	収蔵室などのバックヤードを学芸員が案内します。	11:00 ~ 11:40 14:30 ~ 15:10	館内
お団子づくり	石臼でひいた米の粉をこねてふかし、団子をつくります。	13:00 ~ 15:00	屋外展示場
小さいけど偉大な プチ化石実物図鑑づくり	丹沢産の有孔虫化石を含む石灰岩で実物標本を作ります。参加費100円。	13:00 ~ 16:00	科学教室
紙芝居	民家で紙しばいを演じます。	15:30 ~ 16:30	相模の家

日本では25年、首都圏では173年ぶり!

金環日食を見よう!

5月21日(月)、日本の多くの地域で、太陽が月に隠され太陽がリングのように見える「金環日食」が見られます。非常に珍しい天文現象ですので、ぜひ見逃さないようにしましょう。ただし、日食観察は太陽を見ることとなりますので、やや危険も伴います。安全な方法で観察してください。

日食は朝早く始まります。日食のハイライト、太陽がリング状になるのは下の表にあるように午前7時31分～36分の5分間です。

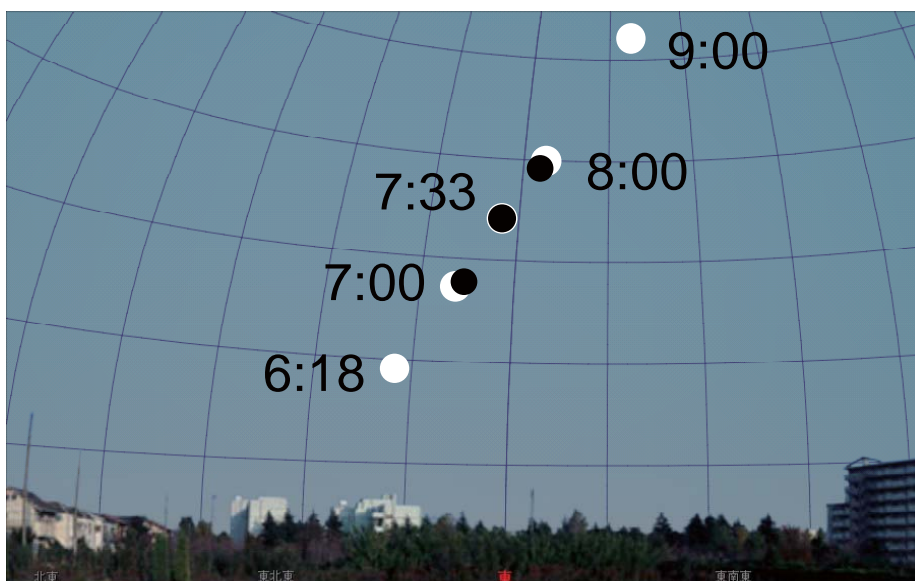


1987年、沖縄で見られた金環日食

平塚での日食の進み方

午前6時18分	日食のはじまり
午前7時31分	金環食のはじまり
午前7時33分	食の最大
午前7時36分	金環食のおわり
午前9時01分	日食のおわり

朝早いいため、日食のとき太陽は東の空に見えています。太陽の高度がやや低いので、なるべく東の空が開けた場所で日食を観察するのがおすすめです。



金環日食は太陽がリング状に見えます。皆既日食と異なり、太陽の一部が見えていますから非常にまぶしく、直接目で見ることはたいへん危険です。また下じき、サングラス、すすをつけたガラス、ネガフィルムの切れ端などを使用して日食を見ることも、目に見えない光を通してしまいますから、絶対にやらないようにしてください。

では、どのように日食を観察すればよいのでしょうか? 最近では、日食を観察するための日食めがねが市販されています。それらを利用するのがよいでしょう。



市販されている様々な日食めがね



ほかにも手鏡で太陽の光をはね返して壁に映したり、ピンホール(画用紙などの厚紙に針や画びょうで穴を開けたもの)を利用したりするなど、間接的に日食を見るのも安全な方法です。左の写真のように、日食の最中に木洩れ日を見てみると、地面に欠けた太陽の姿が映っていることがわかります。安全な観察方法については、博物館で資料をお配りしています。その資料やプラネタリウム、寄贈品コーナーの展示などを参考に、5月21日、安全に楽しく日食をご覧ください。

寄贈品コーナーも 金環日食

5月2日(水)～6月3日(日)

金環日食に向けて、寄贈品コーナーの展示も日食をテーマとした展示になります。5月21日の日食の詳しい説明や日食のしくみ、日食の安全な観察方法などを紹介します。過去や未来の日食情報など、豆知識も満載です☆

台湾からの実習生、来館

4月3日より、平塚市博物館に台湾から博物館実習生・莊易儒さんをお迎えしています。6月24日までの約3ヵ月間、博物館で様々な実習を行います。皆さんと顔を合わせる機会もあると思います。そのときはどうぞよろしくお願いいたします。

台湾からの実習生、莊易儒です、4月から6月24日まで、この平塚市博物館で実習するつもりです。私は大学院で博物館学を勉強しております。卒論テーマは「日本の地域博物館のあり方」なので、この実習を機として、実際に地域博物館の運営に参加し、地域博物館は一体どういう感じで地域と接するのか、この目で確かめたいです。まだ分からないことがいっぱいありますので、一生懸命勉強するつもりです。この3ヶ月間、どうぞよろしくお願いいたします。



古い写真を集めています

博物館では昭和50年ごろまでに平塚市とその周辺で撮影された写真を集めています。写真は博物館の資料として保存するとともに、平成24年度の夏期特別展で展示・紹介させていただく予定です。写真はアルバム・プリント・フィルム・デジタルデータのいずれの形で結構です。

募集する写真

- ・地域の歴史や暮らし、自然の移り変わりを物語る風景写真(自然景観・町並み・集落・田園・里山・道・川・海・鉄道・公共施設など)
 - ・大規模開発にともなう景観の変化に関する写真(旭地区・日向岡・岡崎などの宅地開発)
 - ・地域や家庭のくらしぶりが伝わる写真(服装・食卓・住まい・仕事・祭礼・子どもの遊びなど)
 - ・地域の歴史的出来事に関する写真(記念行事・台風や地震などの自然災害)
- ※ご提供いただく写真は、提供者本人が撮影したもの、または使用权をもつものとしします。

写真提供の条件

- ・ご提供いただいた写真は一度お借りして、複製をとってお返しいたします。
- ・複製させていただいた写真は展示や印刷物への掲示、インターネットでの公開など、博物館のさまざまな活動に使用させていただきます。

写真の提供方法

- ・写真またはアルバムを博物館へ直接お持ちいただくか、博物館までお電話でご連絡ください。

募集期間

5月31日(木)まで



平塚駅(昭和47年1月2日)原克己氏提供

5月

2	水				寄贈品コーナー「金環日食」	「平塚と相模の城館」5月6日まで	「花水川源流からのメッセージ」5月6日まで	プラネタリウム「ゴッホが描いた星空」
3	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室					
4	金	◎特別展展示解説	特別展示室		5月2日	5月3日	5月4日	5月5日
5	土	祝日開館						
6	日	◎特別展展示解説	特別展示室		6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
7	月	◎博物館子どもフェスタ2012	全館					
8	火	休館日			6月10日	6月11日	6月12日	6月13日
9	水	地質調査会	工作室					
10	木	石仏を調べる会	野外		6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
11	金	古文書講読会	講堂					
12	土	◎日食観察用ピンホール投影機を作ろう	講堂		6月24日	6月25日	6月26日	6月27日
13	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂					
14	月	休館日			6月30日	7月1日	7月2日	7月3日
15	火	裏打ちの会	科学教室					
16	水	民俗探訪会	鎌倉市		5月22日	5月23日	5月24日	5月25日
17	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室					
18	金	古文書講読会	講堂		6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
19	土	◎お囃子研究会	講堂					
20	日	地域史研究ゼミ	特別研究室		6月10日	6月11日	6月12日	6月13日
21	月	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室					
22	火	◎古代生活実験室	科学教室		6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
23	水	◎ろばたばなし	相模の家					
24	木	◎相模川の生い立ちを探る会	江の島		6月24日	6月25日	6月26日	6月27日
25	金	休館日						
26	土	◎金環日食観察会	屋上		6月30日	7月1日	7月2日	7月3日
27	日	石仏を調べる会	特別研究室					
28	月	古文書講読会	講堂		6月10日	6月11日	6月12日	6月13日
29	火	◎お囃子研究会	講堂					
30	水	天体観察会	科学教室		6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
31	木	◎星まつりを調べる会	特別研究室					

6月

1	金	古文書講読会	講堂	寄贈品コーナー「金環日食」	プラネタリウム「ゴッホが描いた星空」
2	土	◎お囃子研究会	講堂		
3	日	星を見る会	科学教室	休館日	燻蒸休館
4	月				
5	火			◎星を見る会「金星の太陽面通過」	噴水前広場
6	水				
7	木			燻蒸休館	燻蒸休館
8	金				
9	土			燻蒸休館	燻蒸休館
10	日				
11	月	星まつりを調べる会	野外	燻蒸休館	燻蒸休館
12	火				
13	水			燻蒸休館	燻蒸休館
14	木				
15	金	石仏を調べる会	金目地区	燻蒸休館	燻蒸休館
16	土				
17	日	◎古代生活実験室	科学教室	燻蒸休館	燻蒸休館
18	月	◎ろばたばなし	相模の家		
19	火	休館日		燻蒸休館	燻蒸休館
20	水				
21	木	地質調査会	工作室	燻蒸休館	燻蒸休館
22	金	◎裏打ちの会	科学教室		
23	土	民俗探訪会	逗子市	燻蒸休館	燻蒸休館
24	日	展示解説ボランティアの会	野外		
25	月	◎古文書講読会	講堂	燻蒸休館	燻蒸休館
26	火	◎お囃子研究会	講堂		
27	水	◎平塚の古代を学ぶ会	野外	燻蒸休館	燻蒸休館
28	木	休館日			
29	金	石仏を調べる会	特別研究室	燻蒸休館	燻蒸休館
30	土	◎お囃子研究会	講堂		
		◎平塚の遺跡を歩く	野外	燻蒸休館	燻蒸休館
		◎地域史研究ゼミ	特別研究室		
		◎平塚の戦災と空襲を記録する会	特別研究室	燻蒸休館	燻蒸休館
		◎植物誌調査会	講堂		

燻蒸休館

プラネタリウム幼児投影「だれがおひさまかしたの?」(7月14日)
 プラネタリウム「太陽と星の動き」(7月15日)
 寄贈品コーナー「地震と平塚の地盤」(7月29日)

☆: 展示・プラネタリウム ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示・プラネタリウムと行事

- <特別展と関連行事>
- ☆ 春期特別展「平塚と相模の城館」
 会期: ~ 5月6日(日)
 ◎特別展展示解説
 日時: 5月3日(木)・5日(土) 午前10時 午後3時
 場所: 博物館特別展示室
- <寄贈品コーナー>
- ☆ 「金環日食」
 会期: 5月2日(水) ~ 6月3日(日)
 ※本誌2頁参照
- <企画展>
- ☆ 「花水川源流からのメッセージ—南から来た丹沢の岩石・化石展—」
 会期: ~ 5月6日(日)
- <プラネタリウム>
- ☆ プラネタリウム番組「ゴッホが描いた星空」
 内容: 市制80周年文化ゾーン3館コラボレーション事業として、棟方志功が敬愛したというゴッホの絵をテーマにした番組です。
 投影日: 6月3日(日)までの土、日曜日
 (5/19、5/20を除く)
 時間: (1) 午前11時 (2) 午後2時

- ☆ プラネタリウム番組「金環日食特別投影」
 内容: 5月21日の金環日食のしくみや観察方法を詳しく解説します。
 投影日: 5月19日(土)、20日(日)
 時間: 午前10時、午前11時、午後2時、午後3時
- <申込制の行事>
- ◎ 金環日食観察会
 日時: 5月21日(月) 午前6時30分~8時
 場所: 博物館屋上
 参加: 往復はがきにイベント名、住所、電話番号、参加する方のすべての氏名を記入し、それぞれ5月7日(月)までに申し込む。応募多数時は抽選。定員各回50人。
- <自由参加の行事>
- ◎ 博物館子どもフェスタ2012
 日時: 5月6日(日) 午前9時30分~午後4時30分
 ※本誌1頁参照
- ◎ ろばたばなし
 内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。
 日時: 5月20日(日) (1) 午後1時20分、(2) 午後3時
 場所: 展示室1階「相模の家」

5月の休館日: 7日、14日、21日、28日、31日

あなたと博物館 40巻2号 通算425号 発行 平塚市博物館 2100
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
 E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/